

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	第2回寒川町地域自立支援協議会
開催日時	平成25年8月29日（木）13:00～15:00
開催場所	東分庁舎第2会議室
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	・ 委員：大西会長、森副会長、江島委員、伊藤(久)委員、長田委員、瀧本委員、小川原委員、石澤委員、牧野委員、川本委員、梅澤委員、中村委員、伊藤(靖)委員 ・ 事務局：【町】小島福祉課長、中沢主査、筒井主任主事、岡野主事 【生活相談室すまいる】安田、矢澤 手話通訳 石井、桜井 ・ 欠席者：小澤委員 ・ 承認委員：江島委員、伊藤(靖)委員 ・ 傍聴者：3名
議 題	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 （1）「地域の課題について」 ・ 「ほっとすぺーす」について ・ 障がい者理解のためのリーフレットについて ・ ヘルプカードについて （2）（仮称）寒川町障がい者福祉計画策定に向けたアンケートについて 4. その他 5. 閉会
決定事項	
議 事	1. 開会 事務局より資料確認。 事前資料（資料1～資料6）。当日資料（資料1の修正資料）。 前回会議の指摘事項。

2. 会長挨拶

3. 議題

会 長：承認委員は、伊藤（靖）委員と江島委員でお願いしたい。

（１）「地域の課題について」

・「ほっとすぺーす」について

事務局：事前にお配りした資料に誤りがあったので、当日資料として配布した修正資料１の事業所向けのほっとすぺーすの運営マニュアルを見て頂き、前回から今回までの修正箇所を中心にお話したい。

前回、立寄り所を引き受ける事業所向けと利用者向けとそれぞれのマニュアルが必要というご指摘があり、資料２として、利用者向けのご利用のてびきを作成した。これについても説明させて頂きたい。

修正資料１は事業所向けのマニュアルで、表紙はほっとすぺーすの各事業所に掲げる表示板と同じ字体にし、統一した。前回からの変更箇所は二重下線で表示している。目次は特に変更点はない。

２ページ目の５行目「障がいのある方は」を「障がいのある方の中には」という表現に修正している。下から５行目の前回「おでかけ」だったところを「外出」という表現に修正した。同じく下から３行目も「外出」に修正している。最後の行のところで、前向きな表現にして欲しいという意見があったので、「設置していきたい」という表現に変えている。

３ページ目の運営内容の誤字を修正した。４，５，６ページの修正はない。

７ページの事業所登録については、登録申請の段階で、各事業所の対応可能な曜日や時間帯が確認できた方が良いという意見を受け、申請書の中に対応可能な曜日、時間の記入欄を設けた。

前回の協議会で利用者を中心とした支援システムがイメージ図にふさわしいという意見が出たので、１０ページに新しく記載した。

その表をもとに、９ページ目の支援機関に寒川町福祉課と茅ヶ崎保健福祉事務所を入れ、ほっとすぺーすを直接的に支援する機関とした。後方支援機関には、ボランティアな支援も含めた広い意味での支援をする団体ということで、記載させて頂いた。

以上が事業所向けのほっとすぺーす運営マニュアルになる。

続いて、資料２の寒川町ほっとすぺーすご利用のてびきについて説明する。

	1ページ目については、事業所向けのマニュアルと同じ内容なので、同様に修正したいと思っている。 2ページ目以降は運営マニュアルとほぼ同じ内容で、利用方法を記載した。こういった目的の場所か、利用方法の例等を記載した。 3ページ目は、運営マニュアルと同じ内容で、ヘルプカードについて記載した。 4ページ目に10月時点ではっとすぺーすとして利用できる事業所一覧を載せた。以上が運営マニュアルとご利用のてびきの説明である。 事務局：続いて、各事業所に掲示する表示板について、資料3-1、3-2、3-3を見て頂き、ご意見頂きたい。 大きな変更としては図の英語表記を日本語表記に変更した。 レイアウトは3種類用意した。色も黄色、青、緑の3種類を用意した。 10月1日開始予定の為、今回の協議議で確定したいと思っている。ご意見頂きたい。 会 長：本日の協議議で立ち寄り所の運営マニュアル、ご利用のてびき、表示板について決定していきたい。この内容で良いか、表示板についてはどうか、ご意見頂きたい。 委 員：色は黄色が良いのではないか。明るくて見やすい。 委 員：黄色がよく見える。 会 長：色は黄色で良いか。 委 員：一同承認。 委 員：レイアウトは個人的に3-3が良い。 委 員：絵柄がでこぼこ配置されていると気になって、直したくなってしまう方もいるのではないか。 委 員：でこぼこしているのも目立って良いと思う。 委 員：好みもあると思う。障害のある方と関わっている委員のそれぞれの経験や意見を考慮に入れ、多数決にするのはどうか。 委 員：表示板は他のポスターと並べて掲示すると思うので、目立つものが良い。 会 長：では色は黄色でレイアウトについては多数決をとる。3-1のレイアウトが良い人は挙手をお願いしたい。 ではレイアウト3-1が多いようなので、色は黄色で、このレイアウトでいきたいと思う。 委 員：一同承認。 委 員：ご利用のてびきについて、意見がある。資料を持ち帰り、利用する方に見てもらった。「障がいのある方」という表現に抵抗のある方もい
--	--

た。「支援を必要としている方」というやわらかい表現にして欲しいという意見があった。運営マニュアルはこのままで構わないが、利用者向けのとびきの表現を変更して欲しい。

会 長：「障がいのある方」という表現の方がわかる方もいる。「支援を必要としている方」のみの表記では範囲が広すぎる。両方を併記するのはどうか。

委 員：それで良いと思う。

また、登録事業所一覧に地図を載せることはできないか。どこの事業所が近くにあるのか分かりやすくなる。できれば事業所の写真も載せてもらえるとより良い。

会 長：大きさに写真を入れるのは難しいだろう。

事務局：事業所一覧に番号をふって、その番号を地図に落とし込むことはできる。

委 員：それで良い。

委 員：地図と同じ頁に目印（表示板）も載せた方が分かりやすい。

委 員：事業所向け運営マニュアルの9ページ、ほっとすぺーすに寒川町役場は入ってもらえないのか。町役場のロビーなどをほっとすぺーすに入れてもらえると良いと思う。

事務局：スタートとして町内の事業所や施設から始めたいと思っている。第二弾として公共施設、そしてゆくゆくは個人宅までほっとすぺーすにできたら安心して利用できると思う。10月1日からのスタート時点では事業所と施設からのスタートにしたいと思っている。ご理解頂きたい。

委 員：次の段階からということか。

事務局：町役場はもともとどなたでも利用できる場所なので、ほっとすぺーすとして名前がなくても利用して頂きたいと思っている。

会 長：他にご意見がなければ、この内容で10月1日からスタートしたいと思うがそれで良いか。

委 員：一同承認。

会 長：ではほっとすぺーすに関してはこれで終了とする。

・障がい者理解のためのリーフレットについて

事務局：リーフレットについて説明させて頂く。

前回提示させて頂いた資料を修正したものが、資料4である。それを見て頂き、修正箇所など確認をお願いしたい。

まず、誤字について修正した。また障がい児・者の制度の手帳の交付

	について、1級と6級どちらが重い障がいかわからない方がいるというご意見を頂いたので、その説明文をいれている。 身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳に関しては、障がいの重い方から順にという一文を入れている。療育手帳に関しては、最重度、重度、中度、軽度の説明文を加えた。 最後に裏面に当事者（家族）の団体として前回の会議で皆様に情報を頂いた物を記載させて頂いた。字数の関係もあり、削った部分もあるが、できる限り頂いた情報を伝えられるよう記載している。各団体で内容について確認して頂きたい。すでに頂いているご意見としては、上から5番目の茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会の主な活動について、表記の順番を変えて欲しいというご意見を頂いている。そちらについては修正を考えている。 また10月1日配布予定なので、日には平成25年10月1日現在と右上に記載した。 各団体の連絡先については載せずに、寒川町福祉課または寒川町社会福祉協議会を窓口として、その連絡先として電話番号とFAX番号を記載した。 事務局：追加で視覚障害についての支援方法についても修正案を頂いているのでこちらも修正する。 会 長：ご意見がある方はお願いしたい。 委 員：寒川町手をつなぐ育成会の年会費を記載していなかった。年会費3000円と記載して欲しい。 委 員：リーフレットにルビがついていない。すべての人が見るのでルビはあった方が良くないではないか。 事務局：ルビを入れると字が小さくなり見にくくなってしまうかもしれない。 会 長：ルビを付けるなら枚数を増やす必要があるのではないかな。 当事者が読むこともあると思うが、基本的には障害を知ってもらうための健常者向けのリーフレットなのでルビはいらないのではないかな。 委 員：ルビをふるとどのくらいの枚数になるのか。倍くらいか。 事務局：1.5倍程度になるだろう。8ページほどになるのではないかな。 事務局：皆さん伝えたいことは多くあると思うが、あまり内容が多くなると読み物になってしまう。手に取ってもらえない。リーフレットとしての分量はこのくらいがちょうど良いのではないかな、というご意見があったと思う。 会 長：今回はルビなしでいくのが良いかな。 委 員：まずは知ってもらうということで、今の内容でリーフレットは良いと
--	---

	思うが、連絡先が小さすぎる。もう少し大きく表示して欲しい。リーフレットを出している、寒川町地域自立支援協議会の名前もない。 事務局：表紙に発行元、寒川町地域自立支援協議会という内容と最終ページの連絡先の文字を大きくするよう修正する。 委員：表紙の「知ることから始めよう」という文をポップ調の文字で大きくした方が良い。 会長：では今頂いたご意見を修正して始めたいと思う。 事務局：リーフレットの活用方法について説明させて頂く。前回提示させて頂いたポスターと一緒に各事業所や施設に配布し周知して頂きたいと思っている。町役場、ほっとすぺーすの事業所には、ポスターの掲示とリーフレットを自由にとって頂けるようにしてもらいたい。また、公民館などにも置かせて頂きたいと考えている。他にもリーフレットを置いた方が良い所などあればご意見頂きたい。 委員：民生委員会にも是非頂きたい。 委員：病院にも置いて欲しい。 委員：広報さむかわには載るのか。 事務局：10月1日号に載る予定である。 委員：表紙に載せると良い。 事務局：広報担当と検討させて頂きたい。 委員：自治会でもほっとすぺーすの活動が10月1日から始まるという内容で回覧するという話も出ていたと思うが、どうか。 委員：回覧で回すことはできる。回覧するのであれば簡素化されたものの方がわかりやすい。 事務局：まずは広報に載せることから始めたい。回覧についてはもう少し詳しい内容など載せられたら良いかもしれない。まずは広報に載せることでご納得頂きたい。 委員：段階を追ってで構わないと思う。広報は全戸配布なのでそれで良い。 会長：他にご意見はあるか。 なければ次の議題に移りたい。 ・ヘルプカードについて 事務局：ヘルプカードについて説明させて頂く。前回の協議会でまずパッと見て連絡先が分かるというご意見を頂いていたので、そこを大きく変えている。見本があった方がということだったので、A4一枚で見本とヘルプカード両方を入れた。ほっとすぺーすなどにヘルプカードを置いて頂いて、すぐに使えるようにしたい。ヘルプカードを使っ
--	--

	て実際に支援して頂けるのかというご意見もあった。そのことも含めて、周知の方法も検討して頂きたい。ヘルプカードについても広報10月号に載せる予定である。民生委員さんにも家庭訪問の際などに、ヘルプカードを周知して頂けるようご協力お願いしたい。 連絡先についてもルビをいれたものと入れないものどちらが良いかご意見を頂きたい。
会 長	ヘルプカードについて、ご意見をお願いしたい。
委 員	連絡先と本人についての欄が斜め文字になっている。まっすぐに直して欲しい。本人については太文字にして欲しい。
委 員	本人についてで通所先は知らない人には分かりにくい。就労、就学もまとめて所属にしたらどうか。
委 員	裏面も斜め文字になっている。
会 長	文字はすべてまっすぐにする方向で良いか。他に意見はあるか。
	連絡先についてはルビがあると字が小さくなり見にくい。ルビなしで良いと思う。
委 員	配布用の紙は、このわら半紙のような紙か。
事務局	紙の色は色紙を考えている。
委 員	コピー用紙のような紙なのか。もっとしっかりした紙か。
事務局	もう少し厚みのある紙を考えている。
委 員	色は何色を考えているのか。字を書くものなので見やすい色が良い。ほっとすぺーすに合わせて黄色でも良い。
会 長	他に意見はあるか。なければ今のご意見をもとに検討し進めていく。
事務局	広報の仕方についてのご意見も頂きたい。広報紙には載せる予定だが、その他の方法で何かあれば意見を頂きたい。今考えているのは民生委員さんに事前に説明させて頂き、ヘルプカードも配布し、訪問時にヘルプカードについて周知しご利用につなげていけたらと思う。
会 長	障がいのある方に配布して頂くことは可能か。
委 員	可能である。
会 長	他にヘルプカードを置いて欲しい所はあるか。病院にも置くのか。
委 員	置くことはできると思う。
委 員	ヘルプカードは、必要な人に配布するもの。誰にも配るものではない。どこかに置くのではなく、必要な人に手渡ししていった方が良いのではないか。
事務局	今考えているのは寒川町福祉課、ほっとすぺーす事業所、民生委員からの配布を考えている。
委 員	各団体にも配布して欲しい。

事務局：各団体にも配布するようにする。

委員：確認だが、ヘルプカードはほっとすぺーすの各事業所から利用者に紹介して利用してもらい、事業所に関わりのない方に関しては、民生委員から、また町の福祉課で気がついた方に、そして各団体でも利用を進めるという形で良いか。

事務局：そのように進めていきたい。

会長：他にご意見がなければ、この議題については終了する。

(2) (仮称) 寒川町障がい者福祉計画策定に向けたアンケートについて

事務局：資料6を見て頂きたい。現在寒川町障害福祉課の計画は2つある。1つは障がい福祉計画、もう1つは障がい者やさしさプランである。計画は平成26年度いっぱいまで計画期間終了で、平成27年度から新しい計画になる予定。概要を説明させて頂く。障がい者計画については、基本的な内容を記述した総論的内容、障がい福祉計画は、各サービスの見込み量やニーズの把握をする各論的な計画になっている。今回提示した資料6は前回の障がい福祉計画を策定する際に用いたアンケートになっている。時期としては、年度内に新しい計画の為のアンケートを配布し、ニーズなどを把握した上で、計画を作りたいと思っている。今回と次回の協議会でご意見を頂きたいと思う。事務局としては障害者虐待防止法が施行された関係で権利擁護の欄を追加しようと思っている。さらに前回のアンケートでサービスを利用しているかしていないかというアンケート項目があったが、見込み量を正確に把握したいこともあり、サービスをどのくらい利用したいか、希望のサービス量の欄も加えようと思っている。

今回ご検討頂きたいのは、それ以外で追加すべき項目等あったらご意見を頂きたい。また、このアンケートは全46問になっている。質問量が多いと回収率が上がらないことも考えられるので、分量についてもどのくらいが適当かご意見を頂きたい。

会長：質問、ご意見などあればお願いしたい。

委員：このアンケートは寒川町在住の障害者の方、全てに配布するのか。

事務局：3障害の手帳をお持ちの方、全てに送付する予定でいる。

委員：手帳を持っていない方は対象外か。

事務局：前回も抽出ではなく、手帳をお持ちの方全員という形で実施させて頂いている。今回も同様に3障害の手帳をお持ちの方を対象としたいと考えている。

	説明の中で、障がい者計画と障がい福祉計画があるとお話させて頂いた。今までは別々に計画を作成していた。協議会の中で計画が二つあり分かりにくいなどの意見や、関係性が分からない等のご意見があったことを踏まえ、今回27年度改定ではこの二つの計画を、一つにまとめることを想定している。その部分も含めて、アンケート内容についてのご意見を頂きたい。 委員長：前回のアンケートの回収率はどのくらいだったのか。 事務局：前回は発送数が1856、回収数1029、回収率は55.4%となっている。調査の方法は郵送とさせて頂いている。 会長：アンケートに加えて欲しい項目などあるか。 委員長：7ページ目の「6 外出や地域活動について」の項目になるが、外出に登校や通所も含めてしまうと毎日外出になってしまう。この項目は、余暇や社会参加の為の外出とした方が良いのではないか。この外出は内から一歩出たら外出ということか。この項目には通学などが含まれるのか。放課後出かけることがあてはまるのか。 事務局：就労は別にしている。 委員長：それでは、やはり余暇にした方が良いのではなか。 委員長：後の項目を見ると外出方法や外出先についての問いがある。問25の外出は余暇だけでなく通学や通所も含まれると解釈していた。 委員長：外出にも行かなければいけない外出と楽しんでいく外出があるので、両方が入ると、考え方も違ってくると思う。 委員長：障害によっても違ってくる。精神障害の方などでは、一歩外に出ることでも外出として考えることがある。アンケートで細かくしてしまうよりは、大きな枠でくくってある方が良いのではないか。どのようなことが知りたいかによって、問いかけ方は変わってくる。 会長：余暇支援と通所や通学等の社会参加を別項目にすると良いか。 委員長：問27～問29を別にして、出かける際は何を使うかにしたらどうか。 会長：7ページの大きい項目6として、一括りになっている。 委員長：子どもに障がいがあり、その親としてはいつも誰かが付き添っているということや交通手段について訴えたいということがある。その点が改善されるように調査できれば良いと思う。 会長：余暇支援と通学、通所等の社会参加を分けて欲しいという意見があるがどうか。 事務局：検討させて頂きたい。 委員長：問29についてコミュニケーションに不安があるという項目を追加して欲しい。
--	--

会 長：他に意見はあるか。

委 員：12ページの8福祉サービスの利用状況・意向についての項目に、可能であれば、事業所名を入れて欲しい。サービス名だけでは自分が使っているサービスがどの種類なのか分からない。事業所名があるとわかりやすいと思う。

委 員：事業所名を入れるのは難しいのではないか。

事務局：事業所名が入るとアンケートの趣旨が変わってしまう可能性がある。

委 員：アンケートは無記名か。

事務局：無記名で行う。

委 員：本人が記入する場合、事業所名があった方が分かりやすい。

委 員：通所先で記入する場合は、内容が分からない時はご本人から質問があるのか。

委 員：質問がある。

委 員：行政が作るアンケートなので、決まった言葉を使っていると思う。分からない内容については聞いてもらい、その時に本人に気がついてもらうことも良い。アンケートを記入することにより勉強にもなる。サービスの向上にもつながるのではないか。

会 長：他に載せてほしい項目などあるか。去年は、障害者虐待防止法も施行されている。

事務局：本日頂いたご意見は検討し、次回までにお示ししたいと思う。アンケート項目等については一度委員の皆さまに持ち帰って頂き、9月いっぱいまでにご意見を事務局まであげて頂きたい。頂いたご意見と事務局で検討させて頂いた内容で、次回の協議会でたたき台としてお示ししたいと思う。

委 員：難病に指定されている方も福祉サービスを利用できるようになったが、その項目は入れるのか。

事務局：事務局の中でも検討課題だった。しかし難病の方をアンケートの対象とできるかという点難しい。手帳をお持ちの方なら把握はできるが、難病の方の把握ができていない。

委 員：現状として難病指定を受けている方が、福祉サービスを利用していることはあるのか。

事務局：現在はない。

委 員：承知した。

会 長：ではアンケート項目については一度持ち帰り、9月いっぱいを目途にご意見を頂くことにする。

	4. その他 事務局：次回第2回寒川町地域自立支援協議会はH25年10月29日に開催予定。 会場は今回と同じ東分庁舎第2会議室。 資料はなるべく事前配布にしたいと思っている。 5. 閉会 副会長より挨拶。		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	◎ご利用のてびき（利用者向け） ・障がいのある方と一緒に支援を必要としている方も明記する。 ・事業所一覧に番号をふり、その番号を地図に落とし込む。 ・地図のところに表示板のレイアウトを載せて、目印と表記する。 ◎表示板 ・色は黄色を基調としたものにレイアウトは、資料3-1に決定した。 ◎リーフレット ・自閉症児者親の会の主な活動について、表記の順番を変える。 ・視覚障害の支援方法について、修正する。 ・手をつなぐ育成会の年会費3000円を記載する。 ・ルビはふらない。 ・最後のページの障がいのある当事者の団体（家族）の連絡先を、大きい文字にする。 ・表紙に発行元の寒川町地域自立支援協議会と明記。 ・表紙の「知ることから始めよう」の文字を大きくして、ポップ調にする。 ◎ヘルプカード ・斜め文字になっている箇所をまっすぐな文字に修正する。 ・表紙の本人のことを書く部分は、太文字にする。 ・就労・就学・通所先等を所属に変更する。 ・紙質は、色紙で少し厚みのある紙にする。色は黄色とする。 ◎ほっとすぺーすの広報の仕方 ・ほっとすぺーす、リーフレット、ヘルプカードについては、10月1日から開始することを、広報さむかわで周知する予定。		

	・表紙にほっとすぺーすのことを載せられるかどうか、町役場の広報担当と検討する。 ・リーフレット、ヘルプカードについては、寒川町福祉課、ほっとすぺーすの各事業所、民生委員、各当事者団体（家族）から配布してもらう。民生委員については、事前に説明して、リーフレット、ヘルプカードを配布し、家庭訪問時に周知して利用につなげて頂く。 ・リーフレットは病院にも置いてもらう。 ◎寒川町障がい福祉計画見直しのためのアンケート調査 ・7ページ目の「6 外出や地域活動について」の外出の範囲を余暇と通学、通所等の社会参加と分けて欲しいというご意見があった。また8ページ目の問29に「コミュニケーションに不安がある」という項目を追加して欲しいというご意見もあった。これらについては、町隔場福祉課で検討する。 ・9月末までに、アンケートのことについてご意見があれば、福祉課までご意見を頂くことになった。
配付資料	次第 資料1:「ほっとすぺーす」運営マニュアル 資料2:「ほっとすぺーす」ご利用のてびき 資料3-1、3-2、3-3:「ほっとすぺーす」表示板（案） 資料4:リーフレット「知ることから始めよう」 資料5:ヘルプカード 資料6:寒川町障がい福祉計画見直しのためのアンケート調査（平成23年7月） 当日配布資料（資料1修正）:「ほっとすぺーす」運営マニュアル（修正版）
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	伊藤 靖子 江島 義治 （平成25年10月22日確定）